

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和2年度

施策コード	721	施策	文化の振興
管理事業	歴史文化まちづくりセンター事業	所管部局	都市魅力部

1	所管室課	文化スポーツ推進室	事業名	歴史と文化のまちづくり活動推進事業
事業概要				
歴史と文化のまちづくり活動推進				
活動実績				
(1)歴史と文化のまちづくり活動推進事業委託 地域交流事業として「端午の節句」など8事業、郷土史調査研究を12事業、学習・教養事業を5事業の延べ25事業を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、3事業(延べ6回、参加者102名)のみを実施し、他は中止しました。(事業委託料360,806円)		年度	令和2年度	評価の視点 ※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容 継続 コロナの収束を見越しながら、事業が即時実施できるよう準備をします。
		決算額(千円)	2,891	
(2)吹田歴史文化まちづくり事業補助 「古文書入門」をはじめとする学習・教養講座6講座、地域交流事業13事業、芸能・芸術・演奏事業7事業、まちづくり調査研究3事業を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、実施した事業は18事業(延べ24回、参加者324人)でした。(事業補助金2,530,145円)		一般財源の比率(%)	99.7	
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 日本及び地域の文化や歴史を学び伝承するため、七夕笹飾りをはじめとする季節行事、文化教養講座、伝統古典芸能など様々な事業を行っていますが、内容の充実を図るとともに、新しい視点からの働きかけを図っていく必要があります。 また、さらに広く市民にセンターを周知するため、広報の在り方について検討するとともに、幼少期から歴史や文化に興味を持ってもらうため、子どもが参加しやすい取組についてさらに検討を進めます。		
※歴史文化まちづくりセンターの委託・補助の事業には例年4,000人近い参加者があります。新型コロナウイルス感染症による影響を最小限に抑えるため、動画配信、リモートの活用を行い、参加者は延べ400人程度となりました。				

	所管室課		事業名	
事業概要				
活動実績				
		年度	令和2年度	評価の視点 ※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容
		決算額(千円)		
		一般財源の比率(%)		
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題		

	所管室課		事業名	
事業概要				
活動実績				
		年度	令和2年度	評価の視点 ※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容
		決算額(千円)		
		一般財源の比率(%)		
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題		

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名
文化スポーツ推進室	歴史文化まちづくりセンター管理事業		